



2022年 春号（通巻48号）



新型コロナウイルス感染症の状況により、図書室・視聴学習室のご利用や窓口対応時刻等が例年と異なる場合がございます。学習センターをご利用の際は、事前に学習センターウェブサイト等をご確認ください。

埼玉学習センターのウェブサイトへ
スマホでアクセス ▼▼▼



学習センター入館の際には検温、手指の消毒、不織布マスクの着用にご協力をお願いします

— 目次 —

- ・所長のひと言・・・・・・・・・・・・・2
- ・教職員退任、着任のご挨拶・・・・・・2～3
- ・生涯学習奨励賞授与式と
金剛賞受賞者からの寄稿・・・・・・・・4～6
- ・2022年度より単位認定試験の受験方法が
変わります！・・・・・・・・・・・・・・7
- ・事務室からのお知らせ・・・・・・・・・・8



～所長のひと言～



～新年度を迎えて

堀尾 健一郎

4月から新年度になりましたが、コロナやウクライナなど落ち着かない日々が続いています。放送大学では多くの新入生の皆様を迎えましたが、いくつかの変化もありました。第1に、単位認定試験がWeb試験になりました。本誌7頁にも説明がありますが、学生の皆様にとって大変大事な単位認定試験に関わる大きな変化ですので、遺漏のないようにご準備ください。今後は、細部の変更は伴いながらも、Web単位認定試験が継続していくものと思われます。第2は、本誌8頁にもありますように大学全体の方針で図書の貸し出し対象が本部図書館所蔵の書籍・資料のみになりました。また、図書室専従職員が不在となりますので利用の仕方も若干変更になります。ここ2年程ずっと同じことばかり述べていますが、コロナ禍の状況を踏まえて学習センターの利用について心ならずも制限ばかり申し上げています。ご不便をおかけいたしますが、どうかよろしくお願い申し上げます。



～教職員より退任および着任のご挨拶～

～着任のご挨拶

伊藤 博明

本年度より客員教授を拝命いたしました。本務校の専修大学文学部では哲学と芸術学を講じています。これまで、主にルネサンスの思想と美術の関係、またバロック期のテキストとイメージの関係をテーマとして研究を行ってきました。放送大学では、「星座の文化史」の授業を担当しており、広くヨーロッパの文化的・宗教的・思想的な背景を含めて講義しています。民間のカルチャーセンターでは、占星術やタロットなどのオカルト的分野についても、歴史的観点からお話しています。どうぞ宜しくお願いいたします。



～着任のご挨拶

小川 秀樹

皆さんは、地域のニュースに関心がありますか？
私は埼玉新聞社に務め、40年近くにわたり、変化し続ける埼玉の姿を見てきました。最も興味をもって見続けて来たのは、普通に暮らし、働く人たちです。人は自らの物語を作りながら生き、その物語を誰かに語り、物語の層は地域の厚みに変わっていくと感じています。学生や教職員の皆さんとの学びを通じ、日々の暮らしの中から透けて見える真理や正義、そして課題とその解決方策について、考察を深めたいと思います。皆さんの物語をたくさん聞きたいです。



～着任のご挨拶

二宮 裕之

教員養成や教員研修に関わる仕事をしています。主たる研究テーマは教科の学習指導で、特に算数・数学に焦点を当てています。学校で教科を学ぶことの意味や意義、学習の目的などに関する「目標論」（なぜ、何のために勉強するのか）を踏まえ、教科の内容、学習・指導の方法、評価、教師の授業力、国際教育協力、などのテーマに取り組んでいます。教科の学習や学校教育全般について、皆さんの疑問に答える／一緒に考えられるようにと思いますので、よろしくお願いいたします。



～着任のご挨拶

江口 幸治

今年度から放送大学埼玉学習センターの客員教員となりました。私の専門は、民法学です。民法は条文数が(条文番号としては)法律の中で最も多く、1050条もあります。理由は、民法が私たちの生活に関する権利義務のほとんど総てを規定しているからです。また民法は制定されてから120年も生きている長寿の法律ですが、最近は重要な箇所の改正が相次いでおります。面接授業では現代社会の変化と民法改正について話しをしておりますが、サロンでは、残された課題について皆さんと議論することを楽しみにしております。どうぞよろしくお願い致します。



～着任のご挨拶

二宮 祐

みなさん、こんにちは。客員准教授として着任いたしました二宮祐と申します。私は大学を卒業後、民間企業で働いていました。その後、大学院修士課程に進学して、再びビジネスの世界に戻りました。しかし、どうしても研究を続けたいという思いがあり、再度企業を辞めて大学院博士後期課程に籍を置くことになりました。こうした経歴と関係して、大学教育と社会との接続のあり方について関心をもって、教育社会学・高等教育論という分野で研究をしています。みなさんと一緒に学習、研究ができることを楽しみにしております。



～着任のご挨拶

濱中 真人

本年度から放送大学埼玉学習センターの客員准教授に就任します濱中真人です。さいたま商工会議所に勤務しています。地域の中小企業の方々と接する機会が多く、実践的な中小企業のお話もできると思います。新型コロナウイルスの影響を受ける中小企業。また、国の推し進める「グリーン」や「デジタル」などの流れなど、日本企業の99%を占める中小企業を取り巻く環状は変化しています。さらに、事業承継など中小企業内部の課題もあります。そのような中小企業がどのような対応をしていくのか、一緒に学んでいきましょう。



～着任のご挨拶

豊田 正美

4月1日付けで、放送大学埼玉学習センターに事務長として着任しました。前任は、埼玉大学で勤務をしておりました。埼玉大学では、入試課や学部事務などを経験してきました。実は私も放送大学の卒業生であります。だいぶ前になりますが、働きながら学びたいと思い、全科履修生として4年間在籍していました。働きながらの履修でしたので、それなりに大変ではありましたが。卒業単位の取得は順調だったのですが、苦手な語学の単位が取得出来ず、こころ折れそうになったこともありました。また、毎年、夏は面接授業を履修するために夏季休暇を利用して通学したことを思い出します。面接授業は放送授業と違い、直接、先生方の講義を聴講する機会であり、特に、少人数の講義では学生同士の発表などもあって刺激的でありました。これらの経験が、いま、放送大学で学んでいる方やこれから学ぼうと考えている方のサポートに役立つのではないかと考えています。今後ともよろしくお願い致します。



～退任のご挨拶

小澤 基弘



この3月で5年間務めた放送大学客員教授の職を辞することとなりました。

最後の2年間はコロナ禍でしたが、私はそれでも月に二度は来学するようにしておりました。時々学習相談がありましたし、誰もいない埼玉学習センターではやはり寂しいと感じておりましたので、居るだけでもいいのかなと思い、継続して通っておりました。ですから、フルに5年間勤務できた実感があります。学習相談はさほど頻度はありませんでしたが、コロナ前は月一度のペースで「サロン小澤」をやっておりました。希望者が自作を持ち寄って、それぞれの作品について

私がコメントをするという単純な形態でしたが、定期的に参加する受講者がかなりいらっしゃいました。私は「ドローイング」という、和訳すれば「主観的素描」と訳される類の表現を専門としています。それは、観察したものを正確に2次元に再現する「デッサン」とは質の異なる表現であり、自分の心中を率直に吐露する類の、真正な自己表現と言えます。参加される受講者はこうしたドローイングに興味を惹かれていて、各自それぞれの大変力溢れる作品を毎回持参してきてました。

それぞれに非常に新鮮な表現で、私はむしろ教えられる立場のようにも感じてました。なかには目の不自由な方が参加されたことがあり、その方の描くドローイングがとてもすばらしく、私にはこれまで見たことがない初体験の表現でした。その方は後天的に目が不自由になられた方ですから、記憶像があります。その記憶像を頼りに、そして同伴されている方（この方も熱心な参加者でした）に画材や画面の位置を確認しながら描いていたということでした。こういうケースは大学で教える際にはありえないことです（私は本務校は埼玉大学です）。放送大学はこのような様々な年齢層、そして様々な事情を抱えた方々が在籍されていて、その多様性こそが最大の魅力なのだと思います。教える立場であると同時に教えられる立場でもある、実に不思議なそして濃密な5年間を過ごさせていただきました。

本務校の埼玉大学も退職まであと3年を残すのみとなりました。こちらは30年勤務しております、が、放送大の5年間はそれと比肩できる中味の濃い充実した時間であったと感じています。コロナが明けて再度かつての活気を取り戻す埼玉学習センターの様子が思い浮かびます。

学生の皆さま、今後ともご健康でそしてご闊達に勉学に励まれますように！また、事務職員の皆さま、そしてセンター長の堀尾先生、他の客員の先生方、大変お世話になりました。心から感謝申し上げます退職の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました！

岸 隆一



皆様 前事務長の岸です。

2022年3月31日をもって放送大学埼玉学習センター出向が任期満了となり、埼玉大学に復帰しました。着任した2018年4月1日より4年間お世話になりました。はじめの1年は、前職と同じ大学事務とはいえ放送大学のシステムに慣れるのが精一杯であり記憶が残っていません。

2年目は、仕事にも慣れ、埼玉フェスタ等の様々な行事についても楽しませていただきました。

ところが3年目に入る直前、今も続く新型コロナウイルス感染拡大に襲われ、半年近く学習センター完全閉鎖・ほぼ一人勤務（週1は係長2人）となり、その後も退任するまで単位認定試験の自宅受験・zoomの活用など従前の業務とは異なる対応をせざるを得ない状況が続きました。

けれども、このウイルス感染拡大でweb特にzoomが普及しました。面接授業の一部、3年目に中止とせざるを得なかった埼玉フェスタも4年目はzoomで開催されました。CSCの皆さんは特にですが、このzoom経験だけでもIT（今はDX？）能力が大変向上したと思っています。

また、CSC会議では画面に皆様個人の映像が映るため、かえって親近感が増し懇親を深められたのではないかと考えています。

実際、埼玉フェスタは観客の立場から積極的にフォローする立場に変わって、とても楽しかった。

（それでも、ウイルスが落ち着けばやっぱりアルコール付会食がしたいなあと思う還暦ですが）

その他にもいろいろありましたが、CSC会議出席の皆様や常連の学生さんと仲良くなれた（一方的？）のが一番の思い出です。

改めて、在任中のご厚情に御礼申し上げます。

埼玉大学では、産学官連携・ダイバーシティ（多様性）の担当となります。放送大学はダイバーシティそのものでしたので、学習センターでの経験を活かせると思っています。

もし、埼玉大学に来ることがあればお寄りください。

末筆となりますが皆様のご多幸を願い退職のご挨拶とさせていただきます。

2021年度第2学期 生涯学習奨励賞受賞者

2021年度第2学期は以下のみなさんが生涯学習奨励賞を受賞されました。
誠におめでとうございます！

金剛賞	内島 豊 様 山田 之人 様	岡野 充甫 様	小川 ふみ江様
金 賞	今泉 祉衣子様 齊藤 照夫 様 藤坂 浩史 様	江原 啓子 様 榊原 光代 様 藤田 武敏 様	大竹 紀夫 様 笹川 秀孝 様
銀 賞	池田 純夫 様 小野寺 紳二様 田口 京子 様 畑中 博 様 吉田 憲一 様	板山 正美 様 鹿角 雅子 様 奈尾 博子 様 武藤 達雄 様	遠藤 好彦 様 篠田 朱美 様 南雲 薫 様 森本 博 様
銅 賞	今井 由規子様 日下部 泰司様 関口 裕子 様 外山 一吉 様 西村 敏記 様	亀井 章子 様 白石 弘 様 田中 義男 様 中野渡 きよ様	川島 英昭 様 須藤 稔 様 戸塚 ひろみ様 中村 文彦 様



金剛賞受賞者からの寄稿



放送大学の学びを振り返って

樽井 博 (2021年度第1学期受賞)

生涯学習奨励賞授与式の機会を得て金剛賞をいただきました。また学長表彰および名誉学生をも受け望外の喜びです。関係者の皆様誠にありがとうございます。技術一筋の現役を過ごし定年を控えて「己の知を広めたく」人間と文化関連科目を受講し、数年後に系統的に学びたいと考え学部入学しました。

再就職先の大学で実験装置設計や設置業務を通して研究者の皆さんと触れ、放送大学での学びを継続する支えを得、加えて埼玉学習センターの生涯学習奨励賞受賞者のプレートを見る度に「よし自分も」との意欲を授かりました。

現在は選科学生として継続受講しています。これからも一生涯学習者として放送大学と共に歩んで行きたいと思っています。



情報について

高橋 忍 (2021年度第1学期受賞)

1948年生まれにとって情報は通信工学の一分野だった。トントーのモールス信号こそ情報の象徴だ。今は0、1、0、という繋がり・波に情報を載せるデジタル時代、かつてのコンデンサーやコイルが絡む発信回路からのAM・FMは遠い昔だが情報に通底するのは搬送波と信号・共通語と意思疎通など二つ以上の有機的結合だ。デジタルは標本、アナログは自然の類推。

情報、出自を見極める必要がある。

最後に、専門書で最初に情報に触れたのは、

情報量 $I = -\log_2(\text{確率}) \text{ bit}$

確率 $1/2$ のとき 1 bit となる。



学習する意欲の持続

内島 豊 (2021年度第2学期受賞)

放送大学に1994年に入学して、28年目にすべてのコースを卒業しました。自然科学が好きで(高校時代は生物クラブ)、最初は自然と・・・のコースを選択しました。当初は、オンラインでの学習がなかったので、学習センターで聴講したり、面接授業に参加した事が懐かしく思い出されます。普段は医師として、手術を含めて臨床を行っており、放送大学での学習している話をすると、大変だね好きだねとの反応が多く返ってきます。その時には、自分が知らない事が多いので、学習を続けるんだよと返事をしていますが、学習を続ける事には持続する学習への意欲が必要と考えています。現在、放送大学で学んでいる皆さんにエールを送るとともに、私も意欲を持って、放送大学で学び続ける予定です。



生涯学習奨励賞受賞に寄せて

小川 ふみ江 (2021年度第2学期受賞)

私は今、日々の少しずつの積み重ねで、いつの間にか学部卒業という地点に到達していたという感慨の中にいます。これから少しずつ、この「生涯学習奨励賞」の重みは実感となってくるのかもしれませんが。サークルの中で、知的好奇心やユーモアあふれる諸先輩や仲間の皆様から刺激を受けたこと、また学歌の中の「知ることはよろこび」ということばを体感し得たことも学びを継続する力になったように思います。それでも学び残したものも多く、また日々変化する時代の中で、これからも可能な限り学んでいければと思っています。これまでそっと見守ってくれていた家族にも感謝の気持ちでいっぱいです。



放送大学27年間の学び

山田 之人 (2021年度第2学期受賞)

第6次コロナ対応多忙の中、生涯学習奨励賞授与式に大変うれしく御礼申し上げます。

一、H26年金賞受賞までの学び。私はH5年60歳定年退職でH7年「学び直し」をめざし全科履修生として入学。「生活と福祉」、H9年「社会と経済」へ。H13年「発達と教育」へ。H16年卒業研究「定年後の生涯学習」(麻生 誠教授)は実り多い学びでした。H17年「人間と文化」へ在住の鴻巣市教育委員会、生涯学習推進委員活動に役立ちました。金賞受賞、生涯学習の通過点でのうれしいエールでした。

二、金剛賞受賞

H26年「情報」、R元年「自然と環境」うれしい6コース卒業。学長賞受賞。

三、未知の人生100年時代。嫌なことを我慢せず、好きなことをして幸せにくらす。名誉学生として生涯学習を続けたい。



2022年度第1学期単位認定試験はWeb受験となります

2022年度第1学期の単位認定試験は、ご自宅のパソコンで受験ができる「Web受験方式」にて実施いたします(※一部の科目については郵送受験方式)



Web受験受験方式の手順

自宅のパソコンを使って受験をする場合、下記の試験期間中であれば都合の良い時間を選んで試験を受けることができます！

- ① システムWAKABAにログインします。
- ② トップページ右、縦に並ぶ「学内リンク」内「Web単位認定試験」をクリックします。
- ③ 受講中の科目一覧から受験する科目を選び、「問題を受験する」ボタンをクリックします。

注意：一度受験ボタンを押すと試験時間の50分のカウントダウンが始まり、途中で一時停止することはできません。また、受験は1回のみです。解答の提出が完了した後は、もう一度答えなおす等もできませんのでご注意ください。

- ④ 全ての解答が終わったら「すべての解答を終了して送信する」ボタンをクリックして試験を終了します。

埼玉学習センターで開催する事前の体験会をご利用ください！

ご自宅等でWeb単位認定試験体験版が操作できなかった人、操作するWeb環境が無かった人などを参加対象とした体験会です。事前予約は不要です。

※試験本番では補助員はおりませんので、パソコン操作の質問は一切お受けできません。

操作に不安のある方は必ず体験会にご参加ください。

※この体験会は試験当日までに学生が一人で操作できるようになるためのものです。

<体験会日程> 5月

6月

7月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

※7月12日(火)は閉所日のため体験会を実施しませんので、ご注意ください。
 黄色の日程(平日)：14:00～16:00
 青色の日程(土日)：13:30～16:30
 赤色の日程(試験直前)：13:00～17:00

正多面体と素数('21)、日本美術史の近代とその外部('18)、量子科学('19)
 7月上旬ころ大学本部から送られる**問題用紙・解答用紙・提出用封筒**を用いて受験します。

2022年度第1学期の単位認定試験期間(自宅)
2022年7月15日(金)9:00～7月26日(火)17:00

※学習センターで受験する場合、原則「授業科目案内」に記載された各科目の受験日、指定の時間帯での受験となります。

事務室からのお知らせ

●各種証明書の申請は郵送が便利です！

以下のものを送付ください。（1通につき200円）

◆在学証明書、成績・単位修得証明書、在学期間証明書等

- ①諸証明書交付願（様式9）
- ②手数料（定額小為替または現金書留）
- ③返信用封筒（長形3号）に84円切手貼付・宛名（自宅住所）明記
※2通の場合は10円切手を別途同封してください。

◆教員免許状用単位認定証明書（学力に関する証明書）、学芸員、司書、社会教育主事の単位修得証明書

- ①諸証明書交付願（様式10）
- ②手数料（定額小為替または現金書留）
- ③返信用封筒（長形3号）に84円切手貼付・宛名（自宅住所）明記
※2通の場合は10円切手を別途同封してください。

注）証明書の種類によっては発行に2週間程度要する場合があります。
余裕を持って申請してください。

※諸証明交付願の様式は学生生活の葉巻末ページ及び、システムWAKABAから出力できます。



埼玉学習センター所蔵図書の貸し出しは2021年度をもって終了しました

附属図書館所蔵の本の受け取り・返却は引き続き受け付けておりますので、どうぞご利用ください。（詳細は「学習センター利用の手引」P19～を参照ください）

学生証



2022年度第1学期にご入学（含・継続入学、再入学）された方、および第1学期も継続して学籍がある方で学生証の有効期限が令和4年3月31日だった方の学生証は4月中に発行し、ご登録の住所へ発送済です。まだお手元に届いていない場合、まずはシステムWAKABAにログインし、「学生カルテ」画面で顔写真が正しく登録されているか確認の上、埼玉学習センターへお問い合わせください。
※顔写真の登録がされていない場合は冊子『学生生活の葉』18頁をご参照頂き、写真登録を行ってから学習センターへご連絡ください。

〒330-0853 さいたま市大宮区錦町682-2
JACK大宮ビル（受付：10階）
TEL 048-650-2611 FAX 048-650-2615

放送大学 埼玉

検索



埼玉学習センターのウェブサイト写真付きでアクセス方法を掲載しております。

